

【2025年度主な認知症施策関係事業の取り組みについて】

本人発信支援について

愛知県認知症希望大使と協働した普及啓発

認知症の方ご本人から「認知症とともに生きる」を発信いただくことで、広く認知症に対する理解を深めるため、「愛知県認知症希望大使」と協働して普及啓発活動を行う。

【活動内容】

- 1 県及び市町村が行う認知症の普及啓発活動への協力
- 2 県及び市町村が行う研修への協力
- 3 県及び市町村が行う本人や家族への支援活動への協力
- 4 県及び市町村が行うその他の活動への協力
- 5 県や市町村以外からの依頼を受けた活動への協力 県及び市町村が行う認知症の普及啓発活動への協力

【主な活動予定】

- ・ 認知症月間(9月) 関連イベントへの出席
- ・ 本人交流会、認知症カフェ等への出席
- ・ 認知症サポーター養成講座等での講演
- ・ ピアサポート活動の実施
- ・ 生徒や教職員を対象とした出前講座 等



【2024.9認知症県民フォーラム】

第二期愛知県認知症希望大使 (2024年4月1日～2027年3月31日)



近藤 葉子さん
(こんどう ようこ)



土赤 伸生さん
(つちあか のぶお)

- ▶ 2024年度から新たに2名の大使を委嘱
委嘱期間：2024年度から2026年度
- ▶ 大使の活動の企画調整及び活動支援については、専門的な支援が可能な団体へ委託
(2022年度から2024年度は愛知県作業療法士会へ委託)

ONEアクション研修のさらなる普及・拡大

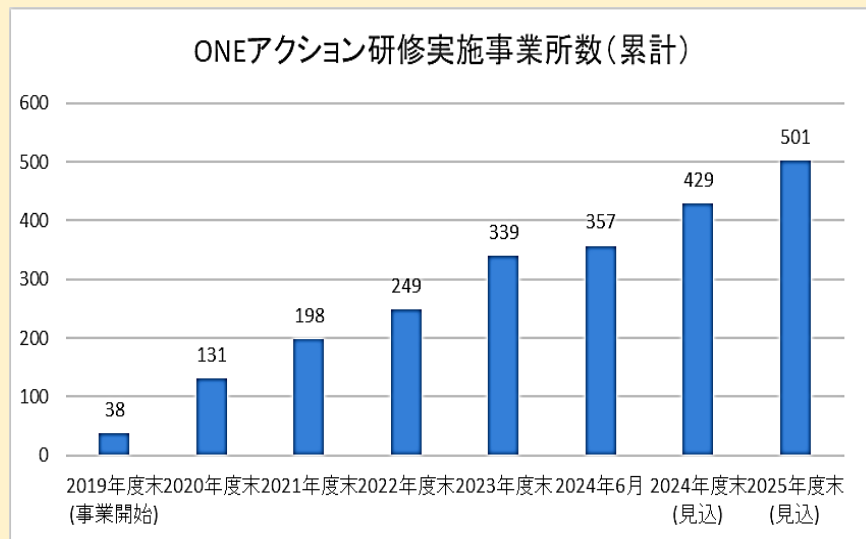
ONEアクション研修とは

認知症の人と関わる機会が多いことが想定される業種（金融・小売・公共交通機関等）で働く人たちが、業務の特性に応じた認知症への対応を身に付け、日常の業務でさりげなく支援できるようになるために愛知県が開発した研修

○ 新プログラム(実践編)について

企業が自社における認知症の人にやさしいサービス等の取組を検討するための新たなプログラムの開発、導入を行ったONEアクション研修

従来の接遇編をさらに発展させた実践編として2024年度に開発・導入



○ 実施内容

- ①新たなプログラム(実践編)講師養成研修
 - ・既存プログラムの実施方法、活用促進
 - ・新たなプログラム(実践編)講師の育成
- ②合同研修兼異業種交流会
 - ・新たなプログラム(実践編)周知、普及
 - ・業種、職種による情報共有、意見交換
- ③推進員及び包括職員等への支援
 - ・企業へのアプローチ方法の検討
 - ・研修PR用コンテンツ等の作成
- ④新たなプログラム(実践編)普及啓発セミナー
 - ・新たなプログラム(実践編)周知、普及
 - ・行政機関、企業の情報共有、意見交換



若年性認知症の人への支援

若年性認知症総合支援センター

○ 若年性認知症支援コーディネータの設置(2名)

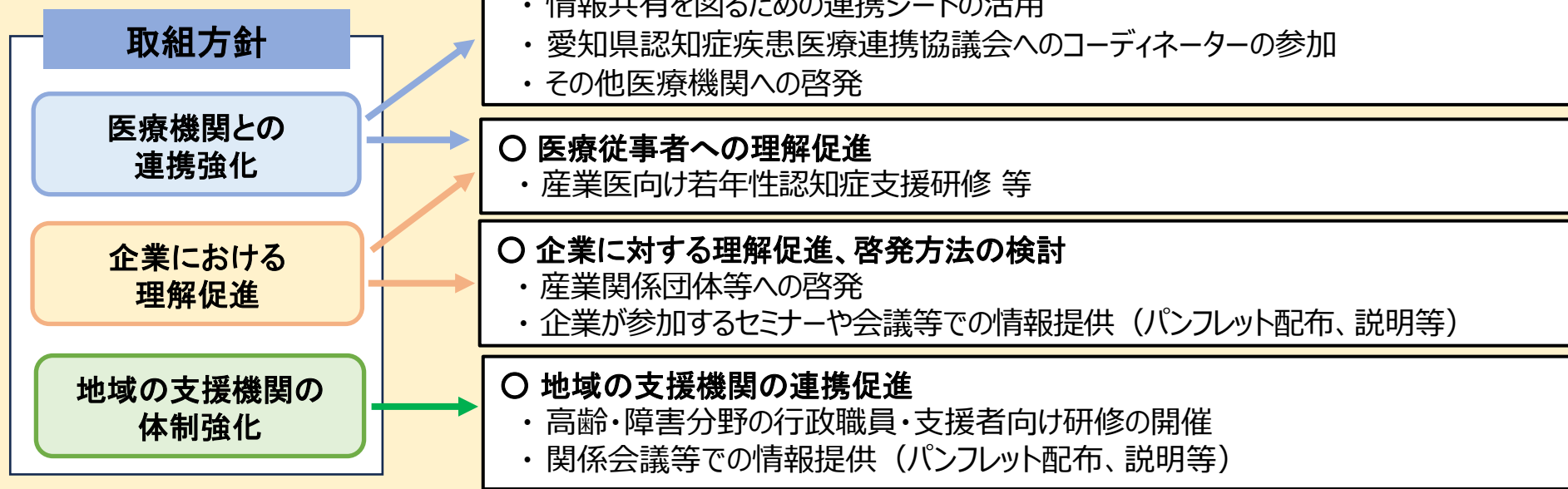
- ・ 本人、家族、職場等からの相談対応
- ・ 関係機関との連携
(各種会議、研修、セミナー等での講演、説明等)

年度別相談実績

※2024年度は2月末までの実績

年度	電話	メール	来所	訪問	オンライン	合計
2020	571	75	18	108	-	772
2021	733	78	17	102	13	943
2022	870	113	19	104	13	1,119
2023	853	247	16	75	9	1,200
2024	1,019	275	30	99	3	1,426

早期相談支援体制の構築



◆災害への備えを含めた在宅介護について、手引きの作成し、家族介護者支援に取り組む

2024年度実施内容

家族介護の実態調査

- ✓在宅介護の現状把握、課題整理
- ✓調査内容の集計・分析

「ドタバタ・イベント法」を活用した災害時への備えの検討

- ✓「ドタバタ・イベント法」のプロセスを活用し、家庭における災害時への備えを含む在宅介護支援への取り組みを検討



■ドタバタ・イベント法

発災時に起こりうると思われるすべてのドタバタイベントを抽出し、課題の整理を行い、備えるべき行動を検討することを目的とする手法 [考案：愛知県立大学看護学部 清水宣明教授]

2025年度実施内容

- 在宅介護者向けの手引きを作成（冊子、動画等）
 - ・日常や災害時の備えになるもの
 - ・これから介護をする人にとっても役立つもの
 - ・介護の実態調査の集計・分析結果とりまとめ
 - ・災害に備えたワーク
- 避難体験の実践
 - ・避難時の課題等について解決策などを検証

2026年度実施内容

- 手引きの配布・公開等
- 取組報告会